

Ciné-là 12

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

December.2011 vol.179

フィリピンを代表する
マリルー・ディアスニアバヤ監督作品を中心に
フィリピン映画の秀作を特集。



ホセ・リサール

通常上映
光、新たに

海に抱かれて



トゥルンバ祭り



あなたに夢中で

マリルー・ディアスニアバヤ監督と フィリピン映画

通常上映

フィリピンを代表するマリルー・ディアス＝アバヤ監督作品を中心にフィリピン映画の秀作を特集。

マリルー・ディアス＝アバヤ監督と フィリピン映画



会期:12月1日(木)~12月24日(土) ※休館日・休映日除く

観覧料:500円(大人)/400円(大学生・高校生)/300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がいの方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳の呈示が必要です。)

※「わの会」会員は250円。(会員証の呈示が必要です。)

12/1 (木)
14:00 | 4 (日)
14:00

ホセ・リサール



監督:マリルー・ディアス＝アバヤ
出演:セサール・モンタノ
ハイメ・ファブレガス

19世紀末。ホセ・リサールがヨーロッパで出版した2冊の本はフィリピンで大反響となるが、帰国したホセ・リサールは、革命軍の蜂起を促したという理由で監禁されてしまう。裁判までの間、彼は弁護士と面会を重ねる。ホセ・リサールは獄中で過去を回想し、芸術家として、また革命家として迷いながらも自らの信念を貫く覚悟をする。しかし司法の場はフィリピン政府により掌握されており、ホセ・リサールは死刑を宣告される。

本作はフィリピン独立100周年を記念して製作された大作であり、フィリピン独立の国民的英雄であるホセ・リサールの半生を描いたものである。ただし単純に彼の生涯を描くだけではなく、彼の著書である「ノリ・メ・タンヘレ」と「エル・フィリップステリスモ」の内容が巧みに組み込まれている点が特徴である。アバヤ監督の熟練された演出は英雄ホセ・リサールを見事に描き上げており、フィリピン映画史上最大のヒット作となった。

1998年/35ミリ/カラー/175分/フィリピン/日本語・英語字幕付き

12/3 (土)
11:00 | 8 (木)
14:00

ミラグロス

Milagros



監督:マリルー・ディアス＝アバヤ
出演:シャーメイン・アナイス
ダンテ・リベロ

酒場のダンサーとして働くミラグロスは、父親が死亡し、莫大な借金が残された事を知る。母親と一緒に借金返済のため農場で働くのだが、地主と彼の息子達はミラグロスに好意を寄せるのだった。ひ弱だが自由な存在であるミラグロスは、大自然と感應する不思議な力を持っており、一種の女性贊美映画。ミラグロスを演じるシャーメイン・アナイスの演技とした魅力が光る作品。

1997年/35ミリ/カラー/133分/フィリピン/日本語・英語字幕付き

12/3 (土)
17:00 | 9 (金)
11:00

カルナル 愛の不条理

Of the Flesh



監督:マリルー・ディアス＝アバヤ
出演:チャリト・ソリス
フィリップ・サルバドール

1930年代のフィリピン。ナルシンはプリンと結婚し田舎の村に帰ってくる。ところがナルシンの父親は、自殺した母親によく似たプリンに関係を迫り、ナルシンは父親を殺害してしまう。アバヤ監督の初期の作品。社会から隔離された村で起きる悪夢のような事件は、マルコス政権末期の当時のフィリピンを暗示している。

1984年/35ミリ/カラー/110分/フィリピン/日本語字幕付き

12/2 (金)
11:00 | 10 (土)
11:00

貴女のためにたたかう

Redeem her Honor



監督:マリルー・ディアス＝アバヤ
出演:シャーメイン・アナイス
ニーダ・ブランカ

1995年/35ミリ/カラー/133分/フィリピン/日本語・英語字幕付き

12/2 (金)
14:00 | 11 (日)
14:00

マドンナ・アンド・チャイルド

Madonna and Child



監督:マリルー・ディアス＝アバヤ
出演:ローナ・トレンティーノ
ステファノ・モーリ

1996年/35ミリ/カラー/121分/フィリピン/日本語・英語字幕付き

12/3 (土)
14:00 | 10 (土)
17:00

ムロアミ

Reef Hunters



監督:マリルー・ディアス＝アバヤ
出演:セサール・モンタノ
ベン・メディナ

1999年/35ミリ/カラー/119分/フィリピン/日本語・英語字幕付き

12/4 (日)
11:00 | 9 (金)
14:00

光、新たに

New Moon



監督:マリルー・ディアス＝アバヤ
出演:セサール・モンタノ
アミー・オーストリア

2001年/35ミリ/カラー/134分/フィリピン/日本語・英語字幕付き

12/7 (水)
14:00 | 11 (日)
11:00

海に抱かれて

In the Navel of the Sea

1950年代フィリピンの離島。島で唯一の助産婦ローサは、ペピートという息子と二人で暮らしていた。ペピートは母親の後を継いで助産夫になろうとする。本作は島で暮らす人々の群像劇であり、呪術や呪いが信じられている不思議な世界が描かれる。西洋文化と伝説、信仰が共存する、独立直後のフィリピンの田舎の生活と雰囲気を伝える、ファンタジックな傑作である。

1998年/35ミリ/カラー/113分/フィリピン/日本語・英語字幕付き



監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:ジョマリ・イラーナ
エリザベス・オロベサ

12/14 (水)
14:00 | 18 (日)
14:00

※古い作品のため、一部が欠落しており、
状態も良くありません。

ノリ・メ・タンヘレ

Touch Me Not

ヨーロッパから帰国したイバラは、大地主の父親が獄死したことを知る。フィリピンのカトリック教会は権力者として横暴を極めていたのだ。イバラは教育の必要を痛感し学校建設を行うが、これも教会の妨害に遭う。フィリピン独立の英雄とされるホセ・リサールの国民的文学の映画化。60年代フィリピン映画を代表する名作。

1961年/35ミリ/モノクロ/180分/フィリピン/日本語字幕付き



監督:ヘラルド・デ・レオン
出演:エドワルド・デル・マル
エディタ・ビタル

12/15 (木)
14:00 | 23 (金・祝)
14:00

マニラ・バイ・ナイト

City After Dark

ゲイの友人と同居するフォーク歌手のアレックス。彼の恋人のヴァネッサはシンナー中毒。レズビアンで麻薬の売人のカノ。今は主婦だが、昔は売春婦だったヴィルジー。何人の恋人を持つタクシー運転手のペドロなど、大都会マニラの片隅で生きる人々の群像を赤裸々に描いた作品。「フィリピンのイメージが悪くなる」とイベルダ・マルコスの逆鱗に触れ、数々所カットされ、改題させられた問題作。

1980年/35ミリ/カラー/151分/フィリピン/日本語字幕付き



監督:イシュマエル・ベルナル
出演:チャリト・ソリス
アルマ・モレノ

12/16 (金)
14:00 | 24 (土)
11:00

少女ルーペ

I Carry the World on My Shoulders

スラム街に住むルーペはゴミ拾いをして暮らしていた。ある日歌のコンテストに出場したルーペは見事優勝し、ナイトクラブで歌手として働くことになる。先輩歌手のロフィーは、新人のルーペに敵対心を燃やすのだった。歌手として活躍する大スター、シャロン・クネータがルーペを演じるスター誕生物語。フィリピン映画の伝説的巨匠リノ・ブロッカ監督作品。

1987年/35ミリ/カラー/127分/フィリピン/日本語字幕付き



監督:リノ・ブロッカ
出演:シャロン・クネータ
ロレッタ・マルケス

12/17 (土)
14:00 | 24 (土)
14:00

マグニフィコ

Magnifico

マグニフィコは9歳の少年で、両親は彼をのろまな子供だと思っていた。祖母は病気で余命いくばくもない状態だった。母親から祖母の葬式代が工面できないことを聞いたマグニフィコは、内緒で祖母の棺桶を作り始め、またアルバイトしてお金を貯めようとするのだった。純粋で優しい心を持つマグニフィコが起こす奇跡のような出来事は、見る者の心を搖さぶらずにはおかしい。主演のジロー・マニオが天才子役と称された感動作。

2003年/35ミリ/カラー/123分/フィリピン/日本語・英語字幕付き



監督:マリヨ・J・デ・ロス・レイエス
出演:ジロー・マニオ
アルバート・マルティネス

12/8 (木)
11:00 | 10 (土)
14:00

昔と今

Then and Now

ジョーイは10年ぶりに母親の住むマニラに帰ってくる。母親が癌になり介護をするためだった。ジョーイは古くからの友人たちと旧交を温める。友人たちも皆家族を持ち、それぞれの悩みを抱えていた。本作は、アバヤ監督が82年に監督した「モラル」という映画の続編である。「モラル」は本作の登場人物の青春時代を描いたもので、本作は彼女たちの20年後を描いたものである。

2003年/35ミリ/カラー/127分/フィリピン/日本語・英語字幕付き



監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:ディナ・ボネビー
エウラ・バルデス

12/15 (木)
11:00 | 18 (日)
11:00

※古い作品のため、状態が良くありません。

水の中のほくろ

Speck in the Water

海の中に浮かぶ小島の村であるサンタ・フェの物語。漁師であるハミン、助産婦になるため島を出て町の医療機関で働いているチエデン、ハミンに想いを寄せるマリア。物語は3人を中心に関開するが、その映像は瞑想を思わせる静かさに満ちている。この島は題名のように大海に浮かぶほくろのようなもので、作品全体が不思議な雰囲気で包まれている。ベルナル監督の実験的な野心作である。

1976年/35ミリ/カラー/118分/フィリピン/日本語字幕付き



監督:イシュマエル・ベルナル
出演:エリザベス・オロベサ
ジョージ・エストレガン

12/16 (金)
11:00 | 23 (金・祝)
11:00

トゥルンバ祭り

Turumba

監督の故郷であるパキルで行われているトゥルンバ祭を背景にした作品。少年カドウのおばあさんは、家族と一緒に馬や犬のマスクコットを作り、祭りの日に販売していた。ある日ドイツのデパートのバイヤーが来て、大量注文をしたため、家族は大忙しなくなってしまう。一貫して自主制作で映画を作るタヒミック監督の秀作。田舎ののんびりした空気と、手作りのほのぼのとした暖かさを感じる作品。

1983年/16ミリ/カラー/87分/フィリピン/日本語字幕付き



監督:キッドラット・タヒミック
出演:ホーマー・アピアド
イニゴ・ヴィト

12/17 (土)
11:00 | 22 (木)
14:00

あなたに夢中で

Loving Someone

女ばかりの家庭で育ったカリストは、社員食堂でバイトをするモニカに出会い恋をする。交際を始める二人だが、モニカは活発な女性で家族は男ばかり。優しくて内気なカリストとモニカの関係はギクシャクしたものだった。日系のアイドル女優アイコ・メンendez主演のラブ・コメディー。対照的な家庭の二人の交際が、さわやかで微笑ましく描かれる。

1993年/35ミリ/カラー/116分/フィリピン/日本語・英語字幕付き



監督:ホセ・ハヴィール・レイエス
出演:アイコ・メンendez
アガ・ムラック

12/17 (土)
17:00 | 21 (水)
14:00

どん底

Slingshot

マニラの北にあるキアポのスラム街に住む人々を描いた作品。不良少年たちのリーダー、ガニ。麻薬常習者のレックス、泥棒のエルモ、輪タク運転手のカイロなど、様々な人物が登場し、本作は彼らの貧しいがバイタリティ溢れる生活を、まるでドキュメンタリーのように描いていく。1月に行われるブラック・ナザレ祭のにぎわいや、選挙活動での票の買収なども興味深い。

2007年/ビデオ/カラー/86分/フィリピン/日本語・英語字幕付き



監督:ブリリヤンテ・メンドーサ
出演:ジロー・マニオ
ジャクリーン・ホセ

12月

上映スケジュール 099

1・木		14:00 ホセ・リサール
2・金	11:00 貴女のためにたかう	14:00 マドンナ・アンド・チャイルド
3・土	11:00 ミラグロス	14:00 ムロアミ
4・日	11:00 光、新たに	14:00 ホセ・リサール
5・月		休館日
6・火		休映日
7・水		14:00 海に抱かれて
8・木	11:00 昔と今	14:00 ミラグロス
9・金	11:00 カルナル 愛の不条理	14:00 光、新たに
10・土	11:00 貴女のためにたかう	14:00 昔と今
11・日	11:00 海に抱かれて	17:00 ムロアミ
12・月		休館日
13・火		休映日
14・水		14:00 ノリ・メ・タンヘレ
15・木	11:00 水の中のぼくろ	14:00 マニラ・バイ・ナイト
16・金	11:00 トゥルンバ祭り	14:00 少女ルーペ
17・土	11:00 あなたに夢中で	14:00 マグニフィコ
18・日	11:00 水の中のぼくろ	17:00 どん底
19・月		休館日
20・火		休映日
21・水		14:00 どん底
22・木		14:00 あなたに夢中で
23・金/祝	11:00 トゥルンバ祭り	14:00 マニラ・バイ・ナイト
24・土	11:00 少女ルーペ	14:00 マグニフィコ
25・日		休映日
26・月		休館日
27・火		休映日
28・水		年末年始の休館日
1/4・水		

第312回プロムナードコンサート

◆◆◆ユニセフチャリティ・クリスマスコンサート◆◆◆

日 時: 2011年12月21日(水) 12:00~13:00 ※入場無料
 場 所: 西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)
 曲 目: ハイドン作曲 弦楽四重奏曲第70番ニ長調 Op.71-2 Hob.III-70 他
 演奏者: 福岡ハイドン弦楽四重奏団
 主 催: 財団法人福岡文化財団 TEL.092-473-6777

マリルー・ディアス=アバヤ監督
プロフィール

1955年フィリピンのケソン市に生まれる。口サンゼルスのロヨラ・メリーマウント大学と、ロンドン・インター・ナショナル・フィルム・スクールで映画を学ぶ。1980年「鎖」で監督デビュー。「カルナル 愛の不条理」「ベビー・チナ」(84年)など、当時のマルコス政権に対する批判的な作品を制作し注目を浴びる。86年にマルコス政権が崩壊した後は、テレビ番組の制作に取り組むが、その姿勢は一貫して社会改革とフィリピンにおける民主主義の確立であった。

93年からアバヤ監督は再び映画監督として活動を開始する。「マドンナ・アンド・チャイルド」「ミラグロス」「海に抱かれて」など、女性をテーマとしながら、娯楽映画とは一線を画し、常にフィリピン社会を見つめた作品は国際的に注目されていく。フィリピンは娯楽映画の製作が盛んな国だが、その中で芸術的な映画を作りて成功を収めたアバヤ監督は、巨匠リノ・ブロッカの後を継ぐ存在として注目される。そして「ホセ・リサール」は興行的にも最大の成功となり、同時にフィリピンの芸術映画が国際的な水準にあることを知らしめた。

さらに「ムロアミ」や「光、新たに」などの作品は世界中の映画祭に招待され、フィリピンだけでなく、アジアを代表する監督の一人となっている。第12回福岡アジア文化賞受賞。アジアフォーカス・福岡国際映画祭が、世界に先駆けて紹介したアジアの映画監督の一人である。

■映像ホール利用申込みについて

映像ホール・シネラでは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり利用申し込みの受付を行います。

■利用の申し込み対象期間: 平成24年6月~平成24年11月まで
 ※別途配布の申し込み用紙に対象日を記載しています。

■申し込み受付期間:

平成23年11月20日(日)~平成23年12月2日(金) ※休館日を除く

■抽 選 日: 平成23年12月3日(土)午前11時より

■抽 選 会 場: 福岡市総合図書館3階 第2研究室

■利用申し込み書:

福岡市総合図書館で配布中の申し込み用紙をお出し下さい。

information

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表): tel.092-852-0600

映像資料課: tel.092-852-0608 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

Access

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。

バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、
 またお近くのバス停からのご利用については
 西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に
 直接お問い合わせください。

